

2021年度 第22回通常総会

1. 開会・代表理事挨拶
2. 議長選任 (定款第25条)
3. 定足確認 (定款第24条)
4. 議事録署名人選任 (定款第28条)
5. 議事

審議事項

第1号議案 2020年度(第21期)事業報告及び決算報告について
<2020年4月1日～2021年3月31日>

第2号議案 2021年度(第22期)事業計画及び予算案について
<2021年4月1日～2022年3月31日>

報告事項

中期計画の報告について

6. 閉会

2021年5月23日(日) 10時30分～11時30分
森づくりフォーラムオフィス(オンライン)



特定非営利活動法人
森づくりフォーラム

1. 開会・代表理事挨拶

2. 議長選任 (定款第 24 条)

(総会の議長)

第 24 条 総会の議長は、出席した理事のうちから代表理事が指名する。

議長： _____

3. 定足確認 (定款第 25 条)

(総会の定足数)

第 25 条 総会は正会員の 10 分の 1 以上の出席をもって成立する。

正会員数： _____ 名 (_____ 名・ _____ 団体)

定足数： _____ 名以上

出席： _____ 名 (出席 _____ 名 / 委任状 _____ 名)

4. 議事録署名人選任 (定款第 28 条)

(総会の議事録)

第 28 条 総会の議事については、議事録を作成し、議長および理事会において選任された議事録署名人 2 名が記名押印または署名し、これを保存しなければならない。

議事録署名人： _____

議事録署名人： _____

第 1 号議案 2020 年度(第 21 期)事業報告及び決算報告について

<2020 年度事業計画>

2020 年は法人格を取得して 20 周年の節目にあたる。そこで当会のビジョンを会員と共有し、一層広く発信していくために、ロゴマークを刷新する。事業遂行にあたっては 2019 年度に策定した中期計画に沿って進めていく予定である。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各活動・事業における対応方針を定めながら、リモートワークを導入して事務局運営を継続し、各事業の実施・計画変更などには柔軟に対応していく。

<2020 年度事業総括>

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業・プログラムの中止・延期が発生した。その結果、事務局運営において資金面で影響があった一方で、リモートワークの導入も進んだ。事務局会議、関係者との打ち合わせは Zoom によるオンライン実施に移行した。また Microsoft365 を導入し、データ共有サーバの移行準備を進め、スタッフ用 PC・リモートワーク用デバイスを購入した。

また、オンラインツールを活用する動きが生まれた。初めてオンライン配信によるシンポジウム・講座を実施し、一部はアーカイブ映像を YouTube に公開し、オンラインでの情報発信を強化し、個人の入会・寄付は増加した。並行して会員・寄付者・関係者データベース更新に向けた移行作業も進めた。

ロゴマーク刷新にあたっては公募を実施し、170 件の公募があった。結果、最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点を選出した。最優秀賞となったものを公式ロゴマークとして、各広報や情報発信時に活用する。

事業の 3 本柱[活動支援、調査研究・政策提言、普及啓発]における成果は以下の通り。特に「森林と市民を結ぶ全国の集い」は初のオンライン形式で開催し、延べ 746 名が参加したこと、また 20 の取材を通じて作成した「人工林の多様性を高める森づくり事例ガイド集」の公開は大きな成果となった。

	計画	報告
活動支援 (ネットワーク・人材育成・団体サポート)	<ul style="list-style-type: none"> ・チェンソー補講などの安全対策研修を森づくり団体向けに実施する。 ・グリーンボランティア保険加入促進キャンペーンを実施し、保険利用率、新規登録団体 20%増加をめざす。 ・事故事例データの集計・分析を行い、活動の事故防止へ向けた啓発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェンソー補講を 7 月に 2 回実施、30 名が参加した。 ・グリーンボランティア保険加入促進 PR キャンペーンを 2021 年 1 月～3 月にかけて実施し、昨年度比 60%増の新規利用登録があった。 ・2015 年度から 5 カ年分の事故報告をデータ化し、集計を行った。 ・25 回目となる「森林と市民を結ぶ全国の集い 2021」をオンライン形式で 8 日間開催し、延べ 746 名が参加した。
調査研究・政策提言	<ul style="list-style-type: none"> ・「森づくり活動実態調査」の実施に向けた準備を進める。合わせて森づくり活動参加者・団体に向けた独自調査も実施していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森づくり参加者を対象とした SDGs 調査を実施、98 名の回答があり、WEB ページで公開した。 ・地球環境基金の助成を受け、「人工林の

	<ul style="list-style-type: none"> 地球環境基金の助成を受け、人工林の生物多様性を高める手法・事例の調査と実践を行う。 	<p>多様性を高める森づくり事例ガイド集」を作成・公開した。また、フォレスト21さがみの森において多様性を高める森づくりを実践進めるための調査と計画作成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林・林業基本計画の見直しに対し、会員からの意見・提案を取りまとめ、林野庁担当課へ提出した。
普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 「初心者のための森づくり体験会」を継続して実施する。 プロボノを活用し、対企業・自治体向けの協働提案資料を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「初心者のための森づくり体験会」は、緊急事態宣言中のプログラム数回分が中止・延期の影響を受けた。 サービスグラントのプロボノ（パーソル社）により、対企業・自治体向け提案資料作成を進めた。 「木下沢渓谷冒険の森」事業の運営を「木下沢渓谷冒険の森の会」に引き継ぎ、広報・助成申請サポートのみ行う形に変更した。 野外活動における新型コロナウイルス対策動画を企画、制作しYouTubeに公開した。

<新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業・プログラムの実施に関する状況>

	事業名・プログラム名	合計件数
中止	初心者のための森づくり体験会（5月 1件）、フォレスト21さがみの森（4月～5月、1月～2月 計8件）、多摩の森・大自然塾（4月～3月 計9件）、チェンソー特別教育補講（2月 1件）	19件
延期	初心者のための森づくり体験会（3月～5月 計3件）、企業の森（5月施業委託 1件）	4件

I. 事業に関する事項

1. 調査・研究に関する事業

(1) 森林社会学研究会事業

[助成事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	石井、原田、宮本
受益対象者の範囲及び人数	YouTube 再生回数計 2,200 回、Facebook Live 再生回数 3,717 回 当日オンライン参加者：89 名

会議等の実施日時・人数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5/24 特別回 新型コロナウイルス以降の森づくり YouTube ライブ配信（無料） 当日再生回数：714 回 ・ 6/12 第 18 回 森の人に聞く！これからの森の楽しみ方・ふれあい方 Facebook ライブ配信（無料） 当日再生回数：1,527 回 ・ 7/2 協力事業（一般社団法人 森と未来） 心を整える森の役割を考える Facebook ライブ配信（無料） 当日再生回数：1,180 回 ・ 8/20 第 8 回企画委員会 オンライン会議 参加：5 名 ・ 9/25 第 9 回企画委員会 オンライン会議 参加：7 名 ・ 10/30 第 19 回 次世代林業家の挑戦！まちと森をつなぐ新しい林業 Zoom ウェビナー（有料,会員無料） 当日参加者：30 名 ・ 12/18 脳・身体と森との関わりから考えるウェルビーイング YouTube ライブ配信（会場：グラムデザイン） 視聴申込み数：257 名 ・ 2/17 第 20 回 次世代が提案する新しい林業のカタチ Zoom ウェビナー（有料,会員無料） 当日参加者：59 名
報告	年間の講座内容を検討する企画委員会のメンバーを新たに 2 名加え、企画運営体制を強化した。コロナウイルス感染拡大を受け、これまでの会場での実施から、オンライン配信形式へと移行し、様々な配信サービス利用を試行し、アーカイブ視聴を含めて多くの視聴参加を得た。

(2) 指標づくり

[自主事業]

実施期間	2020 年 4 月～2021 年 3 月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	宮本
報告	「森とともに暮らす社会」を測る指標項目案を作成した。また指標を測るための調査手法や関連情報の収集も行った。

(3) 森林づくり活動に関わる調査

[自主事業]

実施期間	2020 年 4 月～2021 年 3 月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	宮本
報告	森をつくる・活かす活動の団体運営者・参加者に向けた SDGs 意識調査を独自で行い、その調査結果は「SDGs ハンドブック」(国土緑推発行)に掲載され、WEB ページにも公開した。

(4) 人工林の生物多様性を高める手法・事例の調査

[助成事業]

実施期間	2020 年 4 月～2021 年 3 月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	石井、宮本
受益対象者の範囲及び人数	91 名（下記の参加者・スタッフの総数）

会議等の実施日時・人数	<ul style="list-style-type: none"> ・6/8 植生調査・施業場所フィールド確認 人数：4人 ・7/10 昆虫調査フィールド案内 人数：3名 ・7/22 キックオフミーティング 場所：本会事務所（オンライン） 人数：12名 ・8/6 昆虫調査・イベント下見 人数：4名 ・9/15 植生調査 人数：4名 ・9/20-21 昆虫調査・イベント 場所：さがみの森 人数：11名 ・9/22 昆虫調査 人数：2名 ・11/25 植生調査 人数：3名 ・3/3 植生調査 人数：3名 ・3/22 昆虫調査 人数：2名 ・9月～12月 原稿執筆・インタビュー・現地取材 人数 原稿執筆：6名 インタビュー・取材協力：29名 取材者：8名
報告	<p>「人工林の多様性を高める森づくり」について参考となる知見・事例情報を集め、原稿作成や取材依頼を行い、ベータ版を2021年3月にWEB公開した。本事例ガイドは単一樹種で構成された人工林を、多様性のある森にしていくために参考となる知見・事例を集めたものとなっている。3部構成となっており、第1章では世界の森づくりにおける潮流について、第2章では、人工林・混交林と生態系との関係について、3章では、人工林の多様性を高める森づくりを実践している、行政・自治体、企業、広域での連携・協働事例を紹介している。また本ガイド作成と平行して、市民参加型の実践モデルを行う予定の「フォレスト 21 さがみの森」に関して、生物調査・イベントを行いながら施業計画の策定を進めた。</p>

(5) 森林・林業基本計画案への提言

[自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	宮本
報告	<p>5年ごとに変更される森林・林業基本計画について、会員からの意見・提案を取りまとめ、林野庁に提出した。意見内容は林野庁HP内、林政審議会（令和2年10月12日）ページにて公開されている。</p> <p>詳細 URL：https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/singikai/201012si.html</p>

2. ネットワークに関する事業

(1) 森林と市民を結ぶ全国の集い

[助成事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	石井、鹿住、中沢、宮本

受益対象者の範囲及び人数	884名（下記開催の参加者・スタッフと実行委員会の延べ参加者総数）
会議等の実施日時・人数	<p>・3/7～14「第25回森林と市民を結ぶ全国の集い2021」 場所：岩手・宮城・福島および東京を拠点にオンライン 人数：延べ746名</p> <p>・「第25回森林と市民を結ぶ全国の集い2021」実行委員会</p> <p>7/22 準備会 オンライン会議 人数：4名</p> <p>8/25 プレ会 オンライン会議 人数：14名</p> <p>9/25 第1回 オンライン会議 人数：20名</p> <p>10/13 第2回 場所：本会事務所（オンライン） 人数：17名</p> <p>10/23 第3回 場所：本会事務所（オンライン） 人数：16名</p> <p>11/10 第4回 場所：本会事務所（オンライン） 人数：16名</p> <p>12/21 第5回 場所：本会事務所（オンライン） 人数：18名</p> <p>1/12 第6回 場所：本会事務所（オンライン） 人数：15名</p> <p>2/16 第7回 場所：ダンクソフト（オンライン） 人数：18名</p>
報告	<p>2020年3月14日（土）～15日（日）東京農業大学で開催予定だった第24回は、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となり、実行委員会事務局として、その事後処理を行った。また、9月から実行委員会を立ち上げ、2021年3月7日（日）～14日（日）「第25回森林と市民を結ぶ全国の集い2021」を、岩手・宮城・福島および東京を拠点にオンラインで開催した。テーマは、「『森林と市民を結ぶ』新たなカタチ～東日本大震災から10年、コロナ禍のいま～」。初めてのオンライン、また、8日間という長い日程での実施であったが、まさに「新たなカタチ」にチャレンジし、大きな収穫を得ることができた。</p>

(2) 東京の森づくり団体ネットワークづくり

[助成事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	石井
受益対象者の範囲及び人数	39名（下記開催の参加者の総数）
会議等の実施日時・人数	<p>・7/21 チェンソー特別教育補講1回目 人数：27名</p> <p>・7/31 チェンソー特別教育補講2回目 人数：12名</p>
報告	<p>東京都の森づくり団体とのネットワークの強化、また森林ボランティア安全対策の普及・啓発を目指し、東京都で活動する会員向けにチェンソー特別教育補講研修を2回実施した。第3回目として実際のフィールドでの補講を企画し、3月実施予定であったが、緊急事態宣言を受けて中止・延期となった。</p>

3. 人材育成の事業

(1) 初心者へ向けた森づくり体験会と指導者層の育成事業

[助成事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	東京都内8カ所

担当者	石井、石山、松井
受益対象者の範囲及び人数	49名（下記開催の参加者・スタッフの総数）
会議等の実施日時・人数	<初心者のための森づくり体験会 2019-2020 特別回> ・9/19 団体：高尾グリーン倶楽部 人数：21名 ・11/29 団体：お日の森くらぶ 人数：17名 ・12/6 団体：日の出三六会 人数：11名
報告	4月～5月は、「初心者のための森づくり体験会 2019-2020」の後半プログラムを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となった。その代替開催として「初心者のための森づくり体験会 2019-2020 特別回」を9月～12月にかけて開催した。 また、2021年3月は、「初心者のための森づくり体験会 2021」の第1回プログラムを予定していたが、雨天延期となった。

4. 森林ボランティア活動支援の事業

(1) グリーンボランティア保険業務

[自主事業・補助事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、久保田、樋口、宮本
受益対象者の範囲及び人数	下記表を参照
報告	保険利用は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、利用実績は前年度比で減少したが、保険利用件数の減少に比べ、保険利用人数の減少幅が大きかった。事故件数も昨年度比で半数近く減少している。2021年1月から3月にかけて、小規模事業持続化補助金を活用してPRキャンペーンを実施し、期間中の新規登録は昨年度比で60%増加した。また保険料支払について一定期間をまとめて行えるような制度を、試験団体数を昨年度と同団体で継続試行した。

【グリーンボランティア保険 登録団体 状況】（2020年度実績）

前年度	2020年度新規登録	未更新	更新数	前年度比	利用団体数 計
624	100	119	505	-19	605

・2019年度新規登録：121団体

<件数>（2020年4月1日～2021年3月31日までの実績）

	第一種	第二種	賠償責任部分	合計	前年度比(%)
保険利用件数	3,480	3,552	7,032	7,032	90
保険利用人数	26,800	12,374	39,174	39,174	66
保険料	1,742,136	6,669,451	5,611,260	14,022,847	82
事故件数	11	12	3	26	43

保険金支払額				868,850	57
--------	--	--	--	---------	----

(2) 森林ボランティア安全対策の普及・啓発

[自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
担当者	久保田、宮本、山田
受益対象者の範囲及び人数	ハチ刺され記事閲覧数：521
報告	チェンソー補講研修を会員向けに2回実施した。過去5年分の事故報告のデータベースをセールスフォース・ドットコムボランティア協力を得ながら集計を行った。森の安全を考える会の協力を得て、ハチ刺され時の対応の記事としてまとめWEB上で発信した。また、都の緑の募金を活用して、チェンソー特別補講を2回実施し、動力利用時の安全対策の普及啓発を行った。

5. フィールド事業

(1) フォレスト21「さがみの森」

[助成事業・補助事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	仙洞寺山国有林「さがみの森」19.28ha（神奈川県相模原市緑区青山）
担当者	石井、宮本
報告	4月～5月の定例活動・協議会、1月～2月の定例活動は、新型コロナウイルス感染拡大のため中止とした。再開後も定例活動日は雨天が多く中止となる日が多かった。通常の森林整備作業に加え、昨年台風被害の復旧作業を行った。協議会はZoomを活用しオンラインで実施した。また、地球環境基金の事業を並行して進めた。

(2) 多摩の森・大自然塾 定例活動

[自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	東京都奥多摩町鳩ノ巣
主担当者	鹿住、宮本
報告	新型コロナウイルス感染拡大のため、毎月第3日曜日の定例活動は、ほとんどを中止とした。活動できたのは、再開に向けてスタッフのみでシミュレーションを行った7月、10月、参加者も参加して実施した11月のみとなった。なお、毎月第1日曜日開催の鳩ノ巣協議会はオンライン形式で実施した。

(3) 企業の森

[受託事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	東京都青梅市
主担当者	久保田、宮本
報告	SBSリコーロジスティクス社より依頼があり、イベント前整備として下刈り作

	業を 10 月に実施した。これまで森づくりフォーラムが関わって来た企業は、予定されていた 10 年の活動期間が終了している。企業によっては引き続き活動したいとの意向もあり、東京都農林水産振興財団と相談しながら対応を考えていきたい。
--	---

(4) 木下沢溪谷冒険の森

[助成事業]

実施期間	2020 年 4 月～2021 年 3 月
実施場所	東京都八王子市裏高尾町
主担当者	松井、宮本、樋口
会議等の実施日時・人数	・ 4/30 事業引継ぎ打ち合わせ 会場：高尾グリーンセンター 参加 5 名 ・ 7/14 幹事会 会場：荻窪会議室 参加：6 名
報告	運営を参加ボランティア主体に移行するため、事業引継ぎと役割分担の整理を幹事会メンバー中心に行った。2020 年 7 月以降、森づくりフォーラムでは助成先への計画申請と活動報告、およびイベント等の広報協力を行うこととなった。

<フィールド事業 2020 年度活動成果>

事業名	活動実施日	活動スタイル	実施回数	2020 年度延べ参加者数	2019 年度延べ参加者数
初心者のための森づくり体験会	9/19、11/29、12/6	イベント	3	49	174
フォレスト 21 「さがみの森」	5/5、6/26、6/28、7/1、7/11、8/8、9/27、10/25、11/14、11/22、12/12、12/26、3/15、3/28	定例活動、臨時活動	14	162	398
木下沢溪谷冒険の森 (事務局運営時)	4/12、5/10、6/12、6/14	定例活動、臨時活動、イベント	34	45	269
多摩の森・大自然塾	7/19 (スタッフのみ)、10/18 (スタッフのみ)、11/15	定例活動	3	28	320
人工林の生物多様性を高める手法・事例の調査	6/8、7/10、8/6、9/15、9/20-21、9/22、11/25、3/3、3/22	モニタリング調査、イベント	9	36	-

6. 広報事業

(1) 機関誌『森づくりフォーラムだより』及び『森づくりフォーラム特集号』の発行 [自主事業]

実施期間	2020 年 4 月～2021 年 3 月
実施場所	本会事務所ほか

主担当者	石井、中沢、宮本、村田
報告	『森づくりフォーラムだより』（簡易活動レポート）を4回（4月、8月、11月、3月）発行した。『森づくりフォーラム特集号』は、2020年度の発行が出来なかったが、WEBストアで一般販売し、2020度は合計11冊の売上があった。

(2) メールマガジン『森フォ通信』の発行

[自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
主担当者	石井、中沢、宮本
報告	森づくりフォーラムの活動や森林に関わる情報発信を行った。オンライン講座や新ロゴマーク募集の機会を通じて読者数を増やした。また、WEBサイト内のバックナンバーをFacebookで発信し、メルマガ登録申し込みフォームへの導線を強化した。また、新ロゴマークの募集やオンラインイベントの開催により、購読者数を増やすことができた。

(3) メールマガジン『東京の森づくり団体 活動お知らせ』の発行

[自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
主担当者	石井
報告	「初心者のための森づくり体験会」の参加者・申し込み者に向けて、体験会協力団体の定例活動やイベント情報の発信を月1回実施した。メールマガジンの情報統一のため、2021年3月で発行終了とした。

(4) 森づくりフォーラム WEB サイトの運用

[自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	石井、宮本
報告	各イベントや講座の告知情報をはじめ、「団体紹介記事」、「内山節ライブラリー」、関連情報の掲載等の情報発信を行った。特にイベント告知時にFacebook投稿との関連性を高めた結果、月間ページビュー数は昨年度比で82%増加した。また、ロゴマーク刷新に合わせてWEBサイトのアップデートに向けた準備を進めた。

(5) SNS (Facebook、Instagram、YouTube) の運用

[自主事業]

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	石井、中沢、樋口、宮本
報告	Facebookでは、シンポジウム・イベントなどの広報告知、WEBサイト記事へ

	のリンクなどの情報発信を行った。Instagram では、活動中の写真を活用した投稿をし、活動 PR や森林・林業の普及啓発等を行った。また、YouTube は森づくりフォーラムチャンネルを開設し、オンライン講座のライブ配信や過去開催した講座の一部をアーカイブ化した。
--	--

【各情報発信ツールの推移】

ツール名	投稿、発行頻度	フォロー、アクセス数 (2019 年度)	フォロー、アクセス数 (2020 年度)
メールマガジン	月 2 回	2,921 (内まぐまぐ：409)	3,450 (内まぐまぐ：385)
メールマガジン (東京森づくり)	月 1 回	168	181
FB(森フォ)	月に約 4 記事 投稿	3,089	3,659
FB(全国の集い)	イベント開催前に投稿	945	1,375
WEB	ほぼ毎週更新	38,000 (月 3,164)	46,000 (月 3,833)
Instagram	週 2 日更新	3,500	3,887
Twitter	随時	84	112
YouTube	随時	0	241

【WEB フォーム入力ボタン設置による成果】

フォーム種別	2019 年度実績	2020 年度実績
メールマガジン登録フォーム	91	121
会員入会フォーム	13	17
グリーンボランティア保険登録フォーム	119	105
さがみの森参加申し込みフォーム	13	2

II. 総務に関する事項

1. 会議

- (1) 第 2 1 回通常総会 2020 年 5 月 24 日
- (2) 第 4 2 回定期理事会 2020 年 5 月 23 日
- (3) 第 4 3 回定期理事会 2020 年 11 月 20 日
- (4) 運営委員会 2020 年 4 月 13 日、7 月 17 日、10 月 16 日
2021 年 1 月 22 日
- (5) 事務局会議 2020 年 4 月 28 日、5 月 14 日、6 月 22 日、8 月 20 日、9 月
17 日、11 月 12 日、12 月 14 日
2021 年 2 月 2 日、3 月 2 日
- (6) 広報委員会 事務局会議と併催

2. 会員の拡大

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	運営委員会及び事務局
報告	今年度はオンライン配信時に入会の呼びかけを行った。またメールマガジン購読層やグリーンボランティア保険利用層に向けても働きかけた。また、オンラインイベントでの参加費の差別化や特典内容を見直し、入会を促進した。

会員数の推移（2020年度実績）

	2019年度 会員数	新規 会員数	退会 会員数	2020年度 会員数	2019年度 未納
個人正会員	120	15	3	132	5
個人賛助会員	78	14	8	84	5
個人会員計	198	29	11	216	10
団体正会員	73	16	4	85	7
団体賛助会員	3	0	0	3	
団体会員計	76	16	4	88	7

※新規/退会会員数は、個人正会員から個人賛助会員へ1人、個人賛助会員から個人正会員へ2名・団体正会員へ1名への切り替え数を含む。

3. 寄付の促進

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、宮本
報告	オンラインイベント実施時やWEBサイトでの情報発信時への呼び掛け、体験会やメールマガジン発信時でも呼びかけを行った結果、個人の単発寄付は増加した。

4. データベースの構築・運用

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
担当者	樋口、宮本
報告	会員、グリーンボランティア保険利用団体、関係者などのデータベース管理を改めるため、データベースソフトを購入し、フォーマットを作成した。また、オンライン、リモートワークにも適用可能なデータベース構築を検討した。

5. リモートワークの導入と業務効率化の検討

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、樋口、宮本
報告	常勤スタッフ2名について週1-4日程度のリモートワーク勤務を試行した。合わせて様々なWEBサービスを導入・活用した。また東京都テレワーク助成を活用し、事務局PCの購入とリモート勤務用のヘッドセット等を購入した。

6. インターンシップ制度とプロボノの活用

実施期間	2020年4月～2021年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、宮本
報告	昨年度に引き続きSOMPO環境財団によるCSOラーニング制度を活用し、大学生インターン1名が週1回リモート勤務を含めて業務協力を行った。またサービスグラントのプロボノ支援制度を活用し、パーソルHD社の協力のもと、対企業向けの協働提案資料の作成と問い合わせ時のフロー整理を行った。

7. 各種委員会への出席

- ・2020年9月18日 東京都緑の募金運営協議会 出席：松井理事
- ・2020年度森林・山村多面的機能発揮対策交付金（東京・神奈川・埼玉）（書面審議）担当：松井理事
- ・2020年12月10～16日 東京都森林審議会（書面審議）担当：久保田理事
- ・2021年1月27日 東京都花粉の少ない森づくり推進委員会（書面審議）担当：久保田理事
- ・2021年2月19日 2020年度セブン-イレブン記念財団助成専門審査会 出席：宮本
- ・2021年2月4日・東京都緑の募金運営協議会（オンライン実施）出席：松井理事

III. 事務局体制

常務理事・理事と事務局職員によって、月に1回程度事務局会議を行う。事務局の構成メンバーは以下のとおり。

<常務理事>	〔非常勤〕
鹿住 貴之	認定NPO法人JUON（樹恩）NETWORK
<理事>	〔非常勤〕
松井 一郎	森林インストラクター東京会
<事務局長>	

宮本 至 〔常 勤〕
<事務局職員>
石井 春花 〔常 勤〕
中沢 和彦 〔非常勤〕
樋口 満里 〔非常勤〕
<ボランティアスタッフ>
村田 央

IV. 運営委員会体制

首都圏在住の理事を中心として構成し、原則3カ月に1回程度、各事業の進捗状況の確認および必要な事項を協議する。構成メンバーは、上記の常務理事・理事、事務局常勤職員のほか以下のとおり。

<副代表理事>
原田 敏之 愛知生態系ネットワーク協議会
<理 事>
赤池 円 私の森.jp
<理 事>
石山 恵子 遊学の道 Project
<理 事>
久保田 繁男 西多摩自然フォーラム
<理 事>
水谷 伸吉 一般社団法人 more trees
<理 事>
松村 正治 NPO 法人よこはま里山研究所
<事務局職員>
中沢 和彦

2021年度（第22期）収支予算案

[税込] (単位：円)

科 目	20年度収支	21年度予算	備考
I 収入の部			
会 費 収 入	1,647,000	1,700,000	
事 業 収 入	11,585,245	11,670,000	
受託事業収入	1,021,256	70,000	
助成金・補助金事業収入	8,787,325	9,400,000	
参加費収入	491,468	500,000	
販売費収入	2,196	100,000	
その他事業収入	0	0	
ボラ保登録等収入	1,283,000	1,600,000	
寄 付 金 収 入	1,343,995	1,200,000	
事 業 外 収 入	2,000,015	0	
雑 収 入	20,000,000	0	
その他（受取利息など）	15	0	
經常収入計（A）	16,576,255	14,570,000	
II 支出の部			
事 業 支 出	13,707,085	12,685,000	
受託事業支出	1,154,903	70,000	
助成金事業支出	9,680,490	9,710,000	
自主事業費	660,718	545,000	
ボランティア保険事業費	2,210,974	2,360,000	
管 理 費	2,739,482	1,885,000	
給料 手当	940,607	600,000	
通勤 手当	63,651	60,000	
法定福利費	412,614	90,000	
通信運搬費	120,069	140,000	
水道光熱費	153,827	165,000	
旅費交通費	8,026	0	
業務委託費	0	20,000	
資 料 費	0	0	
消耗品費	6,175	40,000	
広告宣伝費	0	10,000	
工具器具備品費	434,110	0	
印刷製本費	2,376	18,000	モバイル機利用料
賃 借 料	486,404	620,000	家賃・リース等
租税 公課	71,650	72,000	法人住民税等
諸 会 費・雑費	0	10,000	
支払手数料	39,973	40,000	クレジット決済手数料含む
管理諸費（および雑費）	0	0	
事業外支出	0	0	
特別損益	0	0	
当期支出合計（B）	16,446,567	14,570,000	
期収支差額（A） - （B）	129,688	0	
前期繰越収支差額（C）	5,097,105	5,226,793	
次期繰越収支差額（A） - （B） + （C）	5,226,793	5,226,793	

貸借対照表

特定非営利活動法人 森づくりフォーラム
全事業所

[税込] (単位:円)
2021年3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		前受金	600,000
現 金	189,668	預り金	71,027
三菱(メイン)	2,447,747	仮受金	917,494
三菱(ボラ保)	130,651	流動負債計	1,588,521
りそな(三井)	10,375	負債の部合計	1,588,521
りそな(政策研)	135	正 味 財 産 の 部	
みずほ	635	【正味財産】	
郵便貯金	171,769	前期繰越正味財産額	5,097,105
現金・預金計	2,950,980	当期正味財産増減額	129,688
(売上債権)		正味財産計	5,226,793
未収金	2,799,994	正味財産の部合計	5,226,793
売上債権計	2,799,994		
(その他流動資産)			
前払費用	236,040		
仮払金	600,000		
その他流動資産計	836,040		
流動資産合計	6,587,014		
【固定資産】			
(投資その他の資産)			
敷 金	228,300		
投資その他の資産計	228,300		
固定資産合計	228,300		
資産の部合計	6,815,314	負債・正味財産の部合計	6,815,314

財 産 目 録

特定非営利活動法人 森づくりフォーラム
全事業所

[税込] (単位:円)
2021年3月31日 現在

《資産の部》	
【流動資産】	
(現金・預金)	
現 金	189,668
三菱 (メイン)	2,447,747
三菱 (ボラ保)	130,651
りそな (三井)	10,375
りそな (政策研)	135
みずほ	635
郵便貯金	171,769
現金・預金 計	2,950,980
(売上債権)	
未 収 金	2,799,994
売上債権 計	2,799,994
(その他流動資産)	
前払 費用	236,040
仮 払 金	600,000
その他流動資産 計	836,040
流動資産合計	6,587,014
【固定資産】	
(投資その他の資産)	
敷 金	228,300
投資その他の資産 計	228,300
固定資産合計	228,300
資産の部 合計	6,815,314
《負債の部》	
【流動負債】	
前 受 金	600,000
預 り 金	71,027
給与源泉	(26,620)
雇用保険料	(13,777)
報酬源泉	(30,630)
仮 受 金	917,494
流動負債 計	1,588,521
負債の部 合計	1,588,521
正味財産	5,226,793


監 査 報 告 書

特定非営利活動法人森づくりフォーラム
代表理事 内山 節

2020年度(2020年4月1日から2021年3月31日まで)における特定非
営利活動法人森づくりフォーラムの財産の状況及び業務執行の状況について、監査を行
った結果、収支計算書、貸借対照表、財産目録は、いずれも正確に記載されており、財
産の管理等、業務執行は法令、定款に従い適切になされていることを認めます。

2021年 5月 7日

特定非営利活動法人森づくりフォーラム

監 事 菅谷 輝美 

監 事 水本 稔 

第2号議案 2021年度(第22期)事業計画及び予算について

<2021年度事業計画>

2021年度は中期計画3カ年の最終年にあたる。中期計画に基づき業務運営を行うとともに評価を行う。2020年以降導入を進めたリモートワークやオンラインツールの活用も引き続き推進し、事務局スタッフの業務分担も合わせて整理していく。また、ロゴマーク刷新の結果を受け、WEBページ・機関誌のリニューアルを行いながら、会員・寄付者・関係者データベースを更新し、情報発信・寄付促進活動を一層強化していく。事業の3本柱[活動支援、調査研究・政策提言、普及啓発]における各事業計画については以下の通り。

	計画
活動支援 (ネットワーク・ 人材育成・ 団体サポート)	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンボランティア保険の登録早割りキャンペーンを行い、認知拡大に取り組む。 ・全国の集い2022開催に向けた準備を進める。 ・森づくり活動中の事故事例情報などの安全対策の発信を更に強化する。
調査研究・ 政策提言	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境基金の助成を受けた「人工林の多様性を高める森づくり」に関する普及啓発とフィールドでのモデル実践を行う。
普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・「初心者のための森づくり体験会」を継続して実施する。 ・WEBページと機関誌をリニューアルし情報発信を強化する。

I. 事業に関する事項

1. 調査・研究に関する事業

(1) 森林社会学研究会事業

[助成事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	原田、宮本
概要	企画委員会にて内容を検討し、昨年に引き続きオンライン形式で連続講座を数回開催する予定であるが、地域の会場にて配信中継する回の実施も検討していく。

(2) 指標づくり

[自主事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	宮本
概要	「森とともに暮らす社会」を測る指標項目案や指標に基づいた調査方法を引き続き検討していく。

(3) 人工林の多様性を高める手法・事例の調査

[助成事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	石井、石山、宮本
概要	2021年3月に公開した「人工林の多様性を高める森づくり」事例ガイドの情報発信とアップデートに向けたデザイン・レイアウトの編集作業を行っている。平行して、「フォレスト21さがみの森」にて市民参加型によるモデル実践のため、ヒノキ人工林の間伐を中心とした施業と、エリア周辺の照度調査と生物調査を行っている。

2. ネットワークに関する事業

(1) 森林と市民を結ぶ全国の集い

[助成事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	鹿住、中沢、宮本
概要	実行委員会事務局として、2021年3月開催の第25回のまとめを行うとともに、2022年3月の開催に向けて準備を進める。

3. 人材育成の事業

(1) 初心者へ向けた森づくり体験会と指導者層の育成事業

[助成事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	東京都内10カ所程度
担当者	石井、石山、松井
概要	4月～6月にかけて、「初心者のための森づくり体験会2021」の8つのプログラムを開催する。下半期は新たに「初心者のための森づくり体験会」を実施する。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大により、スケールの拡大が難しかったため、今回は、スケールの拡大とともにプログラム内容もより充実させて実施したい。

4. 森林ボランティア活動支援の事業

(1) グリーンボランティア保険業務

[自主事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所
担当者	久保田、樋口、宮本
概要	利用団体増加をめざして、昨年度に続きキャンペーン実施を検討する。利用団体への送付物の電子データ移行を進め、事務効率化を図る。また、現在試行し

	ている保険料年間精算サービスを4団体で引き続き実施することと合わせて、利用数の多い団体については、年間一括で手続きおよび保険料精算が可能な仕組みの導入を、東京海上日動火災とトキワ代理店とで協議していく。
--	---

(2) 森づくり活動における安全対策の普及・啓発

[自主事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所
担当者	久保田、宮本、山田
概要	森づくり活動中の事故・ケガの事例や安全対策に関する情報発信を団体会員向けに行う。また作業だけでなく森林を利用した活動が広がりをみせていることから、森林内での活動中における安全対策に関する情報もオンライン上で発信していく。

5. フィールド事業

(1) フォレスト 21 「さがみの森」

[助成事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	仙洞寺山国有林「さがみの森」19.28ha（神奈川県相模原市緑区青山）
担当者	石井、樋口、宮本
概要	新型コロナウイルス感染拡大状況をふまえながら、毎月第2土曜日、第4日曜日の定例活動を実施していく。毎月第2火曜日の連絡協議会はオンラインで実施していく。活動としては「人工林の多様性を高める森づくり」の施業実践、有識者を招いた台風被害からの復旧作業、株式会社ファンケルの寄付を受けた体験イベント・オンライン発表などを予定している。

(2) 多摩の森・大自然塾 定例活動

[自主事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	東京都奥多摩町鳩ノ巣
主担当者	鹿住、宮本
概要	新型コロナウイルス感染症対策を取りながら、毎月第3日曜日の定例活動はできるだけ実施できるように努めたい。なお、第1月曜日の鳩ノ巣協議会については、オンライン形式を中心に実施する。

(3) 木下沢溪谷冒険の森

[協力事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	東京都八王子市裏高尾町
主担当者	宮本
概要	助成先への申請・報告、保安林の協定手続きなどの事務作業を行うとともに、

	イベント・定例活動の広報協力を行う。
--	--------------------

6. 広報事業

(1) 機関誌『森づくりフォーラムだより』及び『森づくりフォーラム特集号』の発行 [自主事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所ほか
主担当者	石井、中沢、宮本
概要	年4回の『森づくりフォーラムだより』（簡易活動レポート）と年2回の『森づくりフォーラム特集号』の発行を行う。『森づくりフォーラムだより』は、ロゴマーク刷新に伴い、レイアウト・デザイン等のリニューアルを予定している。また、特集号はWEBストアで一般向けに販売し、購入促進を行う。

(2) メールマガジン『森フォ通信』の発行 [自主事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所ほか
主担当者	石井、中沢、宮本
概要	メルマガ登録申し込みフォームへの導線を強化し、月2回の発行体制を継続し、購読者数4000を目指す。イベント参加や入会者の増加をめざしながら、一般読者の森林・林業への関心を高めていくコンテンツを発信していく。

(3) 森づくりフォーラムWEBサイトの運用 [自主事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	石井、樋口、宮本
概要	ロゴマーク刷新と合わせてWEBサイトのアップデートを行う。昨年度に引き続き森づくりフォーラムの活動情報や、森づくり団体支援に関わる情報等を発信しながら、企業向けのページを開設するなどの施策を通じて、協働を検討する団体からの問い合わせやページ閲覧を増やしていく。

(5) SNS (Facebook、Instagram、YouTube) の運用 [自主事業]

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所
主担当者	石井、中沢、樋口、宮本
概要	各サービスの強みを活かしてイベント告知や活動中の写真投稿、森づくり団体の紹介などの情報発信を行っていく。

II. 総務に関する事項

1. 会員の拡大

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所ほか
担当者	運営委員会及び事務局
概要	WEBサイト・SNSでの発信、オンラインイベント実施時の入会呼びかけを積極的に行う。

2. 寄付の促進

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、宮本
概要	オンラインイベント、体験イベントの実施時やメールマガジンでも寄付の呼びかけを行っていく。またWEBサイト上での寄付呼びかけメッセージのアップデートを行い、オンラインからの寄付促進を図る。

3. データベースの構築・運用

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所
担当者	樋口、宮本
概要	会員、グリーンボランティア保険利用団体、関係者などのデータベース移行を進める。オンライン、リモートワークにも適用可能なデータベース構築を検討する。

4. リモートワークの導入と業務効率化の検討

実施期間	2020年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所
担当者	石井、石山、樋口、宮本
概要	スタッフの産休・育休に伴い、現在担当の業務分担・引き継ぎを行いながら、オンラインツールを活用して更なる業務効率化を図っていく。

5. インターンシップ制度とプロボノの活用

実施期間	2021年4月～2022年3月
実施場所	本会事務所

担当者	石井、宮本
概要	昨年度に引き続き SOMPO 環境財団による CSO ラーニング制度を活用し、インターンに業務協力を依頼する。また、サービスグラントのプロボノ「GRANT」を活用し、機関誌のリニューアルを行う。

III. 事務局体制

常務理事・理事と事務局職員によって、月に1回程度事務局会議を行う。事務局の構成メンバーは以下のとおり。

<常務理事>	〔非常勤〕
鹿住 貴之	認定 NPO 法人 JUON (樹恩) NETWORK
<理 事>	〔非常勤〕
松井 一郎	森林インストラクター東京会
<事務局長>	
宮本 至	〔常 勤〕
<事務局職員>	
石井 春花	〔常 勤〕
石山 恵子	〔業務委託〕
中沢 和彦	〔業務委託〕
樋口 満里	〔5月より常勤〕

IV. 運営委員会体制

首都圏在住の理事を中心として構成し、原則3カ月に1回程度、各事業の進捗状況の確認および必要な事項を協議する。構成メンバーは、上記の常務理事・理事、事務局常勤職員のほか以下のとおり。

<副代表理事>	
原田 敏之	愛知生態系ネットワーク協議会
<理 事>	
赤池 円	私の森.jp
<理 事>	
石山 恵子	遊学の道 Project
<理 事>	
久保田 繁男	西多摩自然フォーラム
<理 事>	
水谷 伸吉	一般社団法人 more trees
<理 事>	
松村 正治	NPO 法人よこはま里山研究所

2021年度（第22期）収支予算案

[税込] (単位:円)

科 目	20年度収支	21年度予算	備考
I 収入の部			
会 費 収 入	1,647,000	1,700,000	
事 業 収 入	11,585,245	11,670,000	
受託事業収入	1,021,256	70,000	
助成金・補助金事業収入	8,787,325	9,400,000	
参加費収入	491,468	500,000	
販売費収入	2,196	100,000	
その他事業収入	0	0	
ボラ保登録等収入	1,283,000	1,600,000	
寄 付 金 収 入	1,343,995	1,200,000	
事 業 外 収 入	2,000,015	0	
雑 収 入	20,000,000	0	
その他（受取利息など）	15	0	
経常収入計（A）	16,576,255	14,570,000	
II 支出の部			
事業支出	13,707,085	12,685,000	
受託事業支出	1,154,903	70,000	
助成金事業支出	9,680,490	9,710,000	
自主事業費	660,718	545,000	
ボランティア保険事業費	2,210,974	2,360,000	
管 理 費	2,739,482	1,885,000	
給料 手当	940,607	600,000	
通勤 手当	63,651	60,000	
法定福利費	412,614	90,000	
通信運搬費	120,069	140,000	
水道光熱費	153,827	165,000	
旅費交通費	8,026	0	
業務委託費	0	20,000	
資 料 費	0	0	
消耗品費	6,175	40,000	
広告宣伝費	0	10,000	
工具器具備品費	434,110	0	
印刷製本費	2,376	18,000	コピー機利用料
賃 借 料	486,404	620,000	家賃・リース等
租税 公課	71,650	72,000	法人住民税等
諸 会 費・雑費	0	10,000	
支払手数料	39,973	40,000	クレジット決済手数料含む
管理諸費（および雑費）	0	0	
事業外支出	0	0	
特別損益	0	0	
当期支出合計（B）	16,446,567	14,570,000	
期収支差額（A） - （B）	129,688	0	
前期繰越収支差額（C）	5,097,105	5,226,793	
次期繰越収支差額（A） - （B） + （C）	5,226,793	5,226,793	

特定非営利活動法人 森づくりフォーラム 2021年度役員名簿

	役職	氏名	所属	住所	
1	理事	赤池 円	私の森.jp 編集長	東京	
2	理事	石山 恵子	遊学の道 Project 代表	東京	
3	理事	内山 節	哲学者	東京	代表理事
4	理事	鹿住 貴之	認定NPO法人JUON (樹恩) NETWORK 理事・事務局長	東京	常務理事
5	理事	久保田繁男	西多摩自然フォーラム 代表	東京	
6	理事	小森 耕太	認定NPO法人 山村塾 理事長	福岡	
7	理事	佐藤 岳利	株式会社ワイス・ワイス COO	東京	
8	理事	田島信太郎	田島山業 株式会社 代表取締役	大分	
9	理事	塚本 竜也	NPO法人トチギ環境未来基地 代表理事	栃木	
10	理事	速水 亨	速水林業 代表	三重	
11	理事	原田 敏之	愛知生態系ネットワーク協議会	愛知	副代表理事
12	理事	松井 一郎	森林インストラクター東京会	東京	
13	理事	松下 芳樹	NPO法人どんぐりネットワーク	香川	
14	理事	松村 正治	NPO法人よこはま里山研究所 理事長	神奈川	
15	理事	水谷 伸吉	一般社団法人モア・トゥリーズ 事務局長	東京	
16	理事	山崎 靖代	林家	東京	
17	理事	山田 隆信	きっこりーず	山口	
18	理事	山本 信次	岩手大学農学部 教授	岩手	
19	理事	山本 博	NPO法人日本森林ボランティア協会 事務局長	奈良	
1	監事	菅谷 輝美	NPO法人全国水環境交流会 監事	東京	
2	監事	水木 稔	お日の森くらぶ	東京	